

# E-1 自然環境の保全・活用

## 1 施策の目的（どのようなまちを目指すか？）

豊かな自然環境を次世代に継承し、人と自然が共生する持続可能なまちを実現します。そのため、河川・水質の保全対策を推進し、清らかな水環境と生態系の維持を図り、地域の貴重な自然資源を守ります。また、市民の身近な生活環境の維持・改善により、快適で健康的な暮らしを支え、さらに自然環境を地域資源として有効活用することで、環境保全と地域振興の両立を目指します。

## 2 現状と課題（どのような状態か？）

現状	課題
河川・水質環境の保全への関心拡大	河川水質の監視強化と保全対策の実施により、清らかな水環境の維持と生態系保護、水資源の持続可能な利用が必要です。
身近な生活環境の質向上への要請	生活環境の適切な維持管理と改善対策の推進により、市民の快適で健康的な生活環境の確保と環境負荷の軽減が必要です。

## 3 基本事業（課題を解決するために何に取り組むか？）

基本事業	取り組み内容	期待される効果
河川・水質保全対策の実施	河川水質監視、水質改善対策、生態系保護事業、水環境教育推進	水質改善、生態系保護、環境意識向上、水資源保全
身近な生活環境の維持・改善	大気質監視、騒音・振動対策、緑化推進、環境美化活動支援	生活環境改善、環境負荷軽減、緑化促進、環境美化推進

## 4 目指すSDGsのゴール



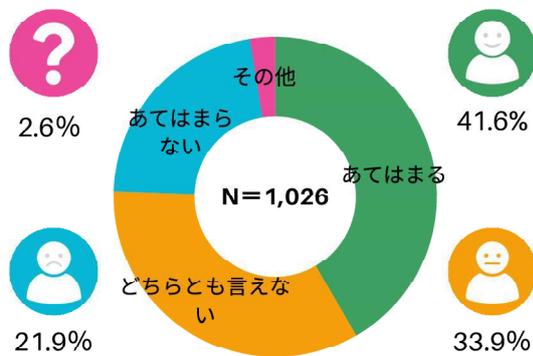
## 5 関連する個別計画

個別計画名	個別計画の内容	計画期間
第2次曾於市環境基本計画	前期計画に続き、豊かな自然環境と快適な生活環境を将来へ引き継ぐため、市民協働による環境保全・循環型社会形成に向けた施策を体系化した基本計画	2021～2030

### 市民意識調査結果（2024）

自慢できる自然環境があるか？

【問13-2】



〔曾於市で開催されたカヌー大会の様子〕

## E-2 循環型社会の構築

### 1 施策の目的（どのようなまちを目指すか？）

資源を有効活用し、環境負荷を最小限に抑えた持続可能な循環型社会を実現します。そのため、市民一人ひとりが循環型ライフスタイルを実践し、3R（リデュース・リユース・リサイクル）を基本とした資源循環を推進します。また、地域ぐるみでの取組みを促進することで、廃棄物の発生抑制と資源の有効活用を図り、さらに環境意識の向上と実践行動の定着により、次世代に美しい環境を継承できる地域社会を構築します。

### 2 現状と課題（どのような状態か？）

現状	課題
循環型社会構築への市民意識の高まり	循環型ライフスタイルの普及促進と地域全体での実践活動の展開により、廃棄物削減と資源循環の推進、持続可能な社会システムの構築が必要です。

### 3 基本事業（課題を解決するために何に取り組むか？）

基本事業	取り組み内容	期待される効果
循環型ライフスタイルの普及と地域ぐるみの実践促進	3R推進啓発、資源回収システム充実、環境教育実施、市民参加型環境活動支援	廃棄物削減、資源有効活用、環境意識向上、地域環境活動活性化

## 4 目指すSDGsのゴール



## 5 関連する個別計画

個別計画名	個別計画の内容	計画期間
曾於市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）	地球温暖化対策推進法に基づき、市役所の事務事業から排出される温室効果ガスを削減するため、省エネ・省資源やリサイクルを実施する実行計画	2024～2030
第2次曾於市環境基本計画	前期計画に続き、豊かな自然環境と快適な生活環境を将来へ引き継ぐため、市民協働による環境保全・循環型社会形成に向けた施策を体系化した基本計画	2021～2030

### 市民意識調査結果（2024）

リサイクルや再生可能エネルギー活用等、環境への取組みを行っているか？

【問15-17満足度】

